

—昭和48年度—



[Redacted text block]

8

[Redacted text block]

[Redacted text block]

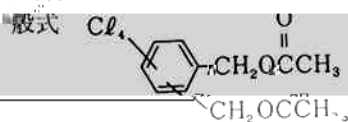
[Redacted text block]

[Redacted text block]

44.10.29 47. 9.11 48. 3.13 (要旨)

[Redacted text block]

12



13

45. 1. 8 47. 10. 2 48. 4. 6

14

15

47-43922 090701
47. 11. 7 48. 5. 21

O

この化合物の分子式は、前記の通りである。単独

国本 則芳

697679

48.7.13

48.8.20

704913

48.9.20

705024

48.9.20

明 義 名

48.9.29

X。

NO

708067
48.10.31

十車(組込)の1/2がラジエーター → エンジンの

組込は各各属の箇子部を来々 取扱 9.6.12のメモ

明 の 名

7件

3708552

Process and Apparatus for the Production of

特許第17789号

登録番号

用した装置において、反応塔の底部に、熱媒体を主として自重により反応塔の底部に熱水蒸気と熱媒体とを供給する。

して加熱された高温の粒状部を移動せしめ下部より

この筒状体の一端部はその周縁部において上記開口部の内周縁に

3723510

'73. 3.27

(小野 勳)

Baruch, H.

4

162367

'71.11.6

188616

勝,
光高)

Wright

勝,
祐二,

'71.12.9 (西島)

柳田 中五

白川 昭三郎 (昭三) 小島 正三 (昭三)

YABUCHI

発 明 の 名 称

1308740

1308740

99170/73

(真淵 俊介, 木佐木 尚)

液相で、アリル位カルボン酸エステルを異性化するにあたり、触媒として白金の担持物を採用し、反応温度を

1010005

1010005

アリル位カルボン酸エステルの異性体相互間の異性化方法

Sumipac 4-Diormate

10

1329196 1329196-7 55093/71

72-11-26 72-0-5 71-11-26

Sumipac 4-Diormateの製造法

Sumipac Sensitive Adhesive Composition

改銀番目 公出番目 新番目

Composizione di Azioni Sensibile Alla Pressione.

(小坂通次郎 精村 勝)

光田特選 No. 5 7 10 11

藤本 辰巳 齊藤 平吉

発 明 の 名 稱

774
A
B 78 2

発 明 者 氏 名 山 崎 幸 三

A b 79

① 門 錠、側 の 出 け 拉 ぎ ね ず 側 の 錠 子 開 閉 の 手 間 を 短 縮 せ る 手 段